

岐阜学習センター（21A）

科目コード	2679256	<div>【授業内容】</div> <p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD:Bring Your Own Device) で実施します。 <div>【受講前の準備学習等】</div> <div>【受講者が当日用意するもの】</div> <div>【その他(特記事項)】</div> </p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学実験では、学生が実験者および実験参加者として実験を行い、得られたデータを統計的に分析してレポートを作成します。「心理学実験3」では、鏡映描写、ストループ効果、囚人のジレンマという3つのテーマで実験を行います。学生は原則として8回の授業すべてに出席し、3種の実験すべてについてレポートを提出する必要があります。</p> <div>【到達目標】</div> <p>研究論文の基本的な書き方(目的・仮説・方法・結果・考察・引用文献の記載方法)に従った心理学実験レポートを書くことができる。 記述された手続き通りに実験を実施することができる。 実験データをコンピュータに入力し、指示に従って統計解析を実施し、統計結果を記載することができる。 実験結果を図表にまとめて、文章により説明をすることができる。 実験結果およびこれまでの研究を引用して、考察を書くことができる。</p> <div>【授業テーマ】</div> <p>第1回 心理学実験でのレポートの書き方について 第2回 鏡映描写実験の導入と実施 第3回 鏡映描写実験のデータ分析と解釈 第4回 鏡映描写実験のレポート執筆指導 第5回 ストループ効果実験の導入と実施 第6回 ストループ効果実験のデータ分析と解釈 第7回 囚人のジレンマ実験の導入と実施 第8回 囚人のジレンマ実験のデータ分析と解釈</p> <div>【学生へのメッセージ】</div> <p>実験の進行状況により、スケジュールが変更になる可能性があります。</p> <div>【受講前の準備学習等】</div> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(’24)」、「心理学研究法(’20)」、「心理学統計法(’21)」を視聴してください。2つの課題について、レポート執筆に用いる資料は事前に準備しておいてください。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」を参照してください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <div>【成績評価の方法】</div> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び授業時間後提出のレポートの評点により行います。</p> <div>【受講者が当日用意するもの】</div> <p>データを共有するためにUSBメモリーを必ず持参してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末ノートパソコンを持参してください。 OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 <div>【教科書】授業当日にプリントを配付します。</div> <div>【その他（特記事項）】</div> <p>充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。</p>
クラスコード	K	
科目区分	専門科目:心理と教育	
ナンバリング	320	
科目名	心理学実験3	
定員	24名	
担当講師	カワシマ ケンタロウ 川嶋 健太郎 東海学院大学教授	
日程 実施時間	<div>■6月20日（土）</div> <div>第1時限 9:30～11:00</div> <div>第2時限 11:10～12:40</div> <div>第3時限 13:30～15:00</div> <div>第4時限 15:10～16:40</div> <div>■6月21日（日）</div> <div>第1時限 9:30～11:00</div> <div>第2時限 11:10～12:40</div> <div>第3時限 13:30～15:00</div> <div>第4時限 15:10～15:55</div>	
実施会場	岐阜学習センター	